

平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	05	事業名	高津区役所子ども・子育て支援事業		
事業所管課	高津区役所子ども支援室			担当者	奥村	連絡先	044-861-3329
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予想されている状況にある。その中で子育て不安や孤立した育児を防ぐためにも、地域のあらゆる場面で親子で交流・学習し、地域のつながりをつくる場が必要とされている。
事業概要	①子育てグループ等の活動を支援し、新たな参加者がつながる機会を持つ。②子育て中の仲間づくりを支援する。③子ども・子育てに関する講演会を開催する。④転入者に対し区内の子育て情報を提供し交流会を開催する。⑤地域の親子が保育園で一緒に遊び、昼食を食べる体験を通じ育児支援を図る。⑥公立保育園園庭開放を通じて地域の親子に安心して利用し交流できる場を提供する。⑦地域子育て支援センターを利用し、親子への遊びや情報を提供し仲間づくりを支援する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	982,000	予算額(調整後)	879,000	決算額	806,315	不用額	72,685
不用の理由	イベント内容を見直した結果、当初予定より謝礼金・イベント保険料に差金が生じたため。(高津区防災まちづくり推進事業費(その他消耗品費)へ103,000円流用。)						
事業目標	子育て中の親子等が交流・学習する機会や場をさまざまな形で提供することで、相互支援の関係を構築し、子どもがすこやかに育ち、子育てしやすいまちづくりを目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①子育てグループ支援事業 ②地域子育て支援事業「あつまれキッズ」 ③子ども・子育て支援講座 ④転入者子育て交流会 ⑤高津区公営保育園子育て支援事業「あそんでランチ」 ⑥公立保育園園庭開放 ⑦地域子育て支援センター事業						
事業目標を達成する上での課題等	参加者獲得に向けた子育てグループへの情報提供の方法、講座では受講者のニーズに合わせた子育て支援講座内容と開催時期の検討、転入者のニーズに合わせた情報提供の方法						
実績	①子育てグループの代表者会と紹介イベントを各1回開催、貸出遊具の充実、グループ紹介リーフレットの作成②あつまれキッズは年齢別に3か所で6コース実施し計203人参加③子ども・子育て支援講座は市民向け5回、スーパーバイズ(従事者に対する高度な講習会)3回実施④転入者子育て交流会は5・6月に5回、10月に2回実施し計156人参加⑤あそんでランチは公立保育園5園で計40回実施し計136人参加⑥各保育園で園庭開放やミニ講座等を実施⑦各地域子育て支援センターで講座やイベントの開催、情報提供などを実施						
協働の視点	区内の子育てグループ、地域の子育て支援組織と連携しながら企画し、実施においても主体性を持った参加の工夫を行った。						
環境配慮への視点	各事業において節電に努め、ゴミの持ち帰りを推奨した。資料等については再生紙を使用した。						
取組の成果	区役所及び地域の様々な場所で、子育て中の親子や子育て支援者が交流・学習する機会を持ち、区における子ども・子育て支援を推進した。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	最大限ニーズの把握に努めながら各事業の推進を図るとともに、次の担い手を育成していく視点を持ちながら企画・運営を行っていく。また、講座についてはテーマや開催場所に関係する機関・団体等をより広く把握し、情報提供の場を広げて広報面の強化を図り、参加者の増加を目指す。

平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	10	事業名	高津区子ども・子育て地域等連携事業		
事業所管課	高津区役所こども支援室			担当者	奥村	連絡先	044-861-3329
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予想されている状況である。その中で子育て不安や孤立した育児を防ぐためにも、地域のあらゆる場面で親子で交流・学習し、地域のつながりをつくる場が必要とされている。
事業概要	①区内の子ども・子育てにかかわる関係機関・団体等が情報交換や協議等を行い、ネットワークの推進を図る。 ②幼稚園・保育園・小学校が互いの保育・教育内容について理解を深め、発達の一貫性を踏まえた子どもの育ちの支援を行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	257,000	決算額	198,020	不用額	58,980
不用の理由	当初予定より消耗品の購入を控えることができたため。				
事業目標	区における子ども・子育て支援を進めるために地域の関係機関・団体が連携し、区内の子ども・子育て支援のネットワークの推進を図ることで、子育てしやすいまちづくりを目指す。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①子ども・子育てネットワーク会議 ②幼・保・小連携推進事業				
事業目標を達成する上での課題等	子ども・子育てネットワーク会議の委員が固定化されており、ネットワークの拡大ができていない。委員改選等により新たなネットワーク構築と内容の充実を図る必要がある。				
実績	①ネットワーク会議は本会議を4回、情報部会を4回、子育てグループ支援部会を8回、研修・企画部会を4回開催 ②幼・保・小連携推進事業は、代表者連絡会2回(4月・2月)、園長・校長連絡会1回(7月)実務担当者連絡会1回(10月)、実習研修(7月～9月)、小学校行事等参観(5月～7月)、小学校授業参観・懇談会(10月～12月)実施。小学校授業参観・懇談会は授業参観延べ151人、懇談会延べ224人が参加				
協働の視点	区民、関係機関、団体等と協働で区内の子ども・子育て支援について検討・実施した。				
環境配慮への視点	各事業において節電に努め、ゴミの持ち帰りを推奨した。資料等については再生紙を使用した。				
取組の成果	①ネットワーク会議本会議の終了後にミニ研修会等を実施し、子育て支援の向上を図った。地域の関係機関や団体等との連携によるネットワークを構築しながら、各部会を中心に事業展開した。 ②幼・保・小連携推進事業により、地域の子ども・子育て関係機関・団体間の連携が強化され、連続性のある子ども・子育て支援が推進された。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	子ども・子育てネットワーク会議については、今後の担い手発掘に努めるとともに地域の子育て環境の変化に対応した部会のあり方等について検討し、部会の活性化を図るように努めながら継続実施していく。幼・保・小連携推進事業では、代表者会議等との情報共有を図り、相互の理解を深めながら事業推進していく。

平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	15	事業名	高津区役所子ども・子育て情報発信事業		
事業所管課	高津区役所こども支援室			担当者	奥村	連絡先	044-861-3329
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予想されている状況にある。その中で子育て不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通して広く提供することが必要である。
事業概要	①子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報をガイドブックやホームページを通して提供する。 ②より親子のニーズに合った情報を提供するために、子育て世代と行政が協働で情報紙を発行する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	2,936,000	予算額(調整後)	2,500,000	決算額	2,384,112	不用額	115,888
不用の理由	情報発信委託料において、契約差金が生じたため。(大山街道ふるさと館イメージアップ事業費へ158,000円流用、地域防災力向上事業費へ188,000円流用、高津区防災まちづくり推進事業費へ90,000円流用。)						
事業目標	子育て中の親の立場に立ったより身近な地域の子育て情報を発信することで、さまざまな子育て資源の活用を促し、子育てしやすいまちづくりを目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①子ども・子育て情報発信「ホッとこそだて・たかつ」 ②子育て情報誌「あったかつうしん」						
事業目標を達成する上での課題等	①最新情報の取得によるホームページ更新作業の迅速化 ②紙面構成・情報内容の検討						
実績	①情報ガイド「ホッとこそだて・たかつ」の更新作業を行い、6月に8,000部発行。ホームページは随時更新 ②子育て情報誌「あったかつうしん」を年間10回、各2,500部発行						
協働の視点	①子育て中の親や関係機関・団体等と協働・調整を図り、利用者の立場に立った内容・構成等の改訂を行った。 ②子育て中の親との協働により、より利用者の視点に立った情報紙を作成した。						
環境配慮への視点	作成に当たっては電子メール等を活用し、紙資源の節約に努めた。また、編集会議等では節電に努め、飲み物等の持参やごみの持ち帰り等を推奨した。						
取組の成果	紙媒体やホームページ等さまざまな形で情報提供することで、広く情報発信・提供できた。また、問い合わせへの対応や子育て資源説明の媒体として区民の理解促進・子育て不安軽減に役立てることができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	毎年改訂して発行している情報ガイドが好評なことから、今後も改訂しながら継続実施する。その中で情報の整理やスマートフォン等による手法の検討も行っていく。

平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	20	事業名	高津区こども・子育てフェスタ		
事業所管課	高津区役所こども支援室			担当者	奥村	連絡先	044-861-3329
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は市内でも年間の出生数が多く、また子育て世代の転入や地域での子育てのネットワークに入れず育児不安を持つ区民も多いことから、地域の子育てネットワーク参加につながる情報を提供し、子育ての不安をひとつでも取り除けるような場を提供する必要がある
事業概要	地域子育て関係機関・組織・区民と協働し、高津市民館全館を一日使用して、子育て関連のイベント、親子交流の場の開催、保育園児の作品展示などを実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	300,000	決算額	300,000	不用額	
不用の理由					
事業目標	各種子育てグループ・子育て支援団体等の活動展示・イベント等を実施し、地域の子育て情報を提供することにより、高津区における市民参加と行政との協働による子どもの育ちを地域で支えるネットワークづくりの一助とします。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	こども支援室・生涯学習支援課を事務局体制とした「第9回高津区子ども・子育てフェスタ」を開催します。				
事業目標を達成する上での課題等	実行委員会委員の公募による子育て中の親や子育て支援者の参加促進、参加団体基準の検討、参加団体の活動プロフィール紹介誌等配布物の改訂				
実績	平成25年11月16日(土)に高津市民館全館を利用して第9回高津区こども・子育てフェスタを開催。乳幼児から小・中学生のこどもとその保護者を対象に、子育てグループ、子育てを支援する団体・機関などを紹介する展示、コンサートなど子ども向けの催し物や、ホールではJAXAの的川泰宣氏による講演会などを開催。来場者2,000人、参加団体72団体				
協働の視点	高津区子ども・子育てネットワーク委員や公募委員により組織された実行委員会及び企画・広報・展示の各部会との協働で企画・運営して行った。				
環境配慮への視点	会場内の一室を環境コーナーとし、CCかわさき、公園緑地協会、環境局減量推進課による展示を行った。また、このフェスタではグリーン電力を使用した。				
取組の成果	乳幼児から中学生まで幅広い年齢の子どもの参加があった。また、父親の参加も多くみられた。実行委員会では4人の公募委員を含め活発な意見交換がみられるとともに各部会でもフェスタの実施に向けて展示や催し物の企画や配布物の改訂作業など自主的な活動が進められた。準備・運営の経過を通し、関係団体の連携・ネットワーク化を図ることができ、区民への情報提供に生かすことができた。				達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	こども・子育てフェスタは今年度で9回を迎え、認知度も高まり来場者が増えてきている。そのため狭溢感があるが、すでに高津市民館全館を借り切って実施しており、会場を広げることにはできない。来年度、第10回の節目の開催にあたり、会場のレイアウトや催しの内容など、見直しを行っていく。

平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	25	事業名	高津区地域連携親子スポーツ教室事業		
事業所管課	まちづくり推進部地域振興課			担当者	小野	連絡先	044-861-3145
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	スポーツや健康づくりに取り組む団体相互の連携を深めるとともに、スポーツ振興により、住民関係が希薄となった地域コミュニティの形成と、活性化を図る。また、地域における子ども・子育て支援のより一層の充実と運動機会の拡充を図る。
事業概要	市が支援する区内の総合型地域スポーツクラブを中心とするスポーツ関係団体と連携したイベントを協働で開催することで、子育て中でも親子で気軽にスポーツを体験できる場や地域交流の機会を提供し、スポーツを通じての、健康づくりや仲間づくり、地域づくりを促進する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	500,000	決算額	500,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	事業の実施にあたっては、「たかつスポーツねっと」を活用し、区内のスポーツ関係団体が2団体以上連携した年3回のイベントを行い、親子合計200組の参加を目指す。高津区子ども総合支援基本方針に沿った、父親の子育て参加の促進、親子で遊ぶ機会と場の提供の充実を図る実施種目の検討をする。また、24年度策定の「川崎市スポーツ推進計画」の重点背景である「スポーツを楽しむ子どもを地域みんなで育てる」を視野に入れたスポーツ体験・交流イベントを継続的に開催する。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	「たかつスポーツねっと」(23年度提案事業)の核であるとともに、区内唯一の総合型スポーツクラブであるNPO法人高津総合型スポーツクラブSELFに委託して実施。				
事業目標を達成する上での課題等	事業を計画するのあたり、地域のスポーツ団体との連絡調整や、実施場所・地域との調整。たかつスポーツねっとを通じたイベント開催の効果的な広報。				
実績	委託先：NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF 親子スポーツ教室 ①9/15「たかつde森遊び 親子デイキャンプ体験(親子19組44名申込み)」高津区市民健康の森で実施予定だったが台風接近により延期日(9/16)も含め中止。②12/27,1/3,1/6「たかつde雪遊び 親子そり体験(親子260組446名参加)」スノーヴァ溝の口-R246で実施。③3/21「たかつde笑顔 ファミリースポーツ縁日」トップスポーツアスリートイベントとして実施予定。				
協働の視点	事業を展開する前に団体、行政の協議を十分行ったうえで、共通の目的意識及びお互いの役割分担を明確にしてイベントを実施した。民間及び地元のスポーツ関係団体とのアプローチを進めることで、多様な団体による連携を図ることができた。				
環境配慮への視点	区内の環境資源の利用として市民健康の森で「親子デイキャンプ」の実施を計画(荒天中止)。				
取組の成果	年3回の親子スポーツ教室においては「たかつスポーツねっと」を活用し、各教室2団体以上の地域スポーツ団体の協力を得て実施することができた。地域スポーツ団体が連携した教室を実施することで、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化に繋がった。また、今年で4回目の「親子そり体験」ではアンケートで90%の参加者が「親子で楽しめた」と回答しており、親子で楽しむイベントとして定着しつつある。				達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	25年度まで「総合的な子ども支援事業」の枠内で「父親の子育て参加促進」を考慮し実施してきた親子スポーツ教室から、一部事業を見直し、スポーツ基本計画等に基づいた「コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進」も視野に入れた教室を開催する。また、区内に新たに設立予定の総合型スポーツクラブ支援を考慮した教室を実施していく。